

2026年度

金江瀬戸幹線外3路線

福山市 赤坂町及び瀬戸町 地内

道路標識設置工事 実施設計書

工 事 概 要	当初設計	第1回変更
	小型標識工 N=4箇所 大型標識工 N=2箇所	

## 特記仕様書

### 第1章 総則

#### 第1節 適用

- ・本特記仕様書は、道路標識設置工事（金江瀬戸幹線外3路線）に適用する。
- ・本特記仕様書に記載のない事項については、次によるものとする。
- ・令和7年8月 広島県 土木工事共通仕様書、「設計図書（別冊図面、仕様書）」、「福山市建設工事執行規則」、「福山市工事検査技術基準」
- ・その他関連規格類
- ・小黑板情報電子化を実施しない工事写真について、監督員の承諾を得る必要はないものとする。

#### 第2節 工程表の提出について

- ・契約締結後14日以内に設計図書に基づいて、工程表を作成し、発注者に提出すること。工期の変更契約についても同様とする。

#### 第3節 地元への周知

- ・受注者は、監督員と協議し、地先住民、町内会長、土木常設員に工事着手及び工事完了の報告を行うこと。また、工事着手に先立ち地先住民及び貸借人には具体的な施工内容、方法、時期等の説明を行い、承諾を得ること。
- ・受注者は、工事着手の際に、あらかじめ沿線地権者に施工内容等についての説明を行い、承諾を得ること。

#### 第4節 地権者への承諾

- ・地権者に官地内の境界杭等の有無を確認すること。境界杭等がある場合は工事完了後、復旧することとし、地権者が境界杭等はないと回答をした場合であっても、境界杭等の有無を確認しながら、施工しなければならない。受注者は地権者と現地で立会を行い、境界杭等の有無、位置等の確認を行うこととし、事前、事後に写真記録を行い、適切に管理すること。

#### 第5節 施工承認図の作成

- ・受注者は、受注後、設計図書に基づき現地を照査し、施工承認図を作成し監督員に提出すること。

#### 第6節 工事に着手すべき期日について

- ・受注者は、工事開始日以降30日以内に工事着手しなければならない。

#### 第7節 法定外労災保険の付保について

- ・本工事は、法定外の労災保険契約の保険料を見込んでいる。

#### 第8節 再生資源利用計画の現場掲示

受注者は、再生資源利用計画及び再生資源利用促進計画を工事現場の見やすい場所に掲示（デジタルサイネージによる掲示も可）し、公衆の閲覧に供するとともに、インターネットの利用により公表するよう努めるものとする。

### 第2章 材料

#### 第1節 コンクリートの配合指定

- ・鉄筋コンクリート（呼び強度21及び24）の水セメント比については55%以下、無筋構造物のコンクリート（呼び強度18）の水セメント比については60%以下とすること。

### 第3章 施工条件

#### 第1節 関連する別途工事

- ・工事名 : 令和8年度福山道路瀬戸第4改良工事
- ・他工事の内容 : 道路改良工

#### 第2節 関係機関との協議

- ・協議先機関名 : 国土交通省中国整備局福山河川国道事務所
- ・協議内容 : 施工時期及び施工方法について

### 第3節 工事支障物件

- ・調査項目：埋設管位置確認
- ・調査時期：工事施工前に必要であれば試掘を行うこと。
- ・移設期間：工事期間中
- ・提出書類：受注者は、工事着手に先立ち、水道管、ガス管、その他の地下埋設物の調査を行い、施工による不測の事態に対処するため、各管理者（水道管の場合は監督員）に誓約書を提出すること。

### 第4節 検査期間

- ・本工事の工期は、工事検査期間として、14日間を見込んでいる。

### 第5節 交通誘導警備員

- 1 片側交互通行及び通行止め等の交通制限を行う場合は、関係官公署の許可条件を遵守し、関係機関との協議を十分に行うこと。また、地域の地元関係者等周辺を利用する市民への周知徹底を図り、安全かつ円滑な交通を確保して事故発生の無いように努めること。
- 2 作業現場、作業用地内の整理整頓に留意して必要な安全施設の設置等を行い、関係者以外の立ち入りを禁止して危険防止に努めること。
- 3 本工事における交通誘導員は、交通誘導警備員Bを見込んでいる。尚、交通誘導警備員の実施伝票は原本を提出すること。
- 4 本工事において交通誘導警備員の積上げ人数は、交通誘導警備員の対象となる施工量に対し作業日当たり標準作業量から必要な人数を見込んでいる。したがって、正当な理由がある場合を除き、施工実績等による交通誘導員の積上げ人数の増員に対する変更は行わない。
- 5 受注者は、工事着手に先立ち、交通誘導警備員の配置計画（配置日数及び配置場所）を作成し、監督員と協議すること。

### 第6節 熱中症対策

- ・本工事は、工事現場の熱中症対策に資する経費に関して、現場管理費の補正を行う工事である。
- 1 工期（工事の始期日から工事の終期日までの期間で、準備期間、施工に必要な実日数、不稼働日及び後片付け期間の合計をいう。なお、検査期間13日間、年末年始6日間（12月29日～1月3日）、夏季休暇3日間（国民の祝日である山の日の次の日から土曜日、日曜日及び振替休日を除く3日間とする。）、工場製作のみを実施している期間、工事全体を一時中止している期間は含まない。）期間中の真夏日の状況に応じて、変更契約時に現場管理費の補正を行うものとする。
  - 2 真夏日とは、日最高気温が30度以上の日をいう。また、日最高暑さ指数（WBGT）が25度以上の日をいう。ただし、夜間工事の場合は、作業時間帯の最高気温又は最高暑さ指数（WBGT）を対象とする。
  - 3 気温の計測箇所及び結果は、施工現場から最寄りの気象庁の地上気象観測所の気温又は環境省が公表している観測地点の暑さ指数（WBGT）を用いることを標準とする。なお、本工事において、上記地上観測所及び観測地点は、「福山」とすることを標準とする。
  - 4 受注者は、工事期間中における気温の計測箇所、用いる計測値及び計測期間（計測開始日、計測終了予定日）を明記した施工計画書を工事着手前に提出し、計測結果を工事完成時までに監督員に提出すること。
  - 5 受注者は、計測終了日について、工事完成時までに監督員と協議するものとする。
  - 6 積算方法は次のとおりとする。
    - (1) 補正方法  
ア 受注者より提出された計測結果の資料を基に、補正值を算出し現場管理費率に加算する。ただし、現場管理費率の補正は、「積算寒冷地域で施工時期が冬期となる場合の補正」、「緊急工事の場合」及び本通知の補正值を合計し、2%を上限とする。  
イ 真夏日率＝工期期間中の真夏日÷工期  
ウ 補正值（%）＝真夏日率×1.2
    - (2) 補正值の計算結果は、パーセント表示で少数点3位を四捨五入して2位止めとする。
  - 7 受注者より、熱中症対策に資する現場管理費の補正が不要である旨の協議があった場合は、補正を行う工事から対象外とすることが出来る。
  - 8 検査員から修補の指示があった場合、修補期間は対象外とする。

## 第7節 建設副産物について

(1) 工事受注者は、工事着手前に、次の書類を本工事の監督員に提出すること。なお、建設発生土については、処分先の現地確認写真を提出すること。

### 1 建設廃棄物処理計画書

・廃棄物処理業者（収集及び運搬）の許可証の写し（許可車両の自動車登録番号一覧及び自動車検査証の写しを含む）

・廃棄物処理業者（中間処理・最終処分）の許可証の写し（再生資源化施設にあっては、それを示す書類を含む）

・運搬ルート、処分場の位置、事業の範囲、処理能力及び処理方法を明示したもの

・各処分場の現地確認写真

・建設工事の受注者と処理業者（収集、運搬、中間処理・最終処分・再資源化施設）との二者の業務委託契約書の写し

### 2 再生資源利用計画書

### 3 再生資源利用促進計画書

(2) 工事受注者は、「再生資源利用計画書」、「再生資源利用促進計画書」及び「建設廃棄物処理計画書」に従い建設廃棄物及び特定建設資材廃棄物が適正に処理されたことを確認し、工事完成時に次の書類を監督員に提出すること。なお、建設発生土については、処分先への搬入状況の写真を添付すること。

### 1 再生資源利用実施書

### 2 再生資源利用促進実施書

### 3 建設廃棄物処理実施書

・マニフェスト（産業廃棄物管理票）の写し及び再生資源化に係るものについては受入伝票の写し（マニフェストは原則として環境省が示す全国統一のマニフェストを使用する。）

・収集及び運搬の写真並びに中間処理場及び最終処分場（直接最終処分の場合のみ）への搬入状況の写真

## 第8節 建設発生土（搬出）（建設発生土リサイクルプラント、建設発生土受入地又は建設発生土受入地（一時たい積））

・当該工事により発生する建設発生土は、公の関与する埋立地、建設発生土処分先一覧表に掲載されている建設発生土リサイクルプラント、建設発生土受入地又は建設発生土受入地（一時たい積）のいずれかに搬出するものとする。また、搬出先として、運搬費と受入費（平日の受入費用）の合計が最も経済的になる建設発生土リサイクルプラント、建設発生土受入地又は建設発生土受入地（一時たい積）を見込んでいる。したがって、正当な理由がある場合を除き残土処分に要する費用（単価）は変更しない。なお、工事発注後に明らかになったやむを得ない事情により、建設発生土処分先一覧表に掲載されている建設発生土リサイクルプラント、建設発生土受入地又は建設発生土受入地（一時たい積）への搬出が困難となった場合は、監督員と受注者が協議するものとする。

・搬出先においては、処分状況が確認できるよう、写真撮影を行うとともに、数量等が確認できるように計量伝票等を監督員に提出すること。

・実施伝票は原本を提出すること。

## 第9節 特定建設資材廃棄物（アスファルト塊、コンクリート塊等）

・建設リサイクル法対象工事（請負代金額500万円以上）の場合、「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律」を遵守し適正に処理すること。また、法第12条第2項に基づき、法第10条第1号から第5号までに掲げる事項について下請負人に告知する場合は、告知書の写しを監督員に提出すること。

・特定建設資材廃棄物は、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」（以下「廃棄物処理法」という）を遵守し、適正に処理しなければならない。

・特定建設資材廃棄物は、広島県（環境局）及び保健所設置政令市（広島市、呉市、福山市）が、廃棄物処理法に基づき許可した適正な施設へ搬出し再資源化しなければならない。

・再資源化に要する費用（運搬費を含む処分費）は、広島県（環境局）及び保健所設置政令市（広島市、呉市、福山市）が廃棄物処理法に基づき許可した適正な施設のうち受入条件が合うものの中から、運搬費と受入費の合計が最も経済的になるものを見込んでいる。従って、正当な理由がある場合を除き再資源化に要する費用（単価）は変更しない。なお、工事発注後に明らかになったやむを得ない事情により、施設への受入が困難な場合は監督員と受注者が協議するものとする。

・搬出先においては、処分状況が確認できるよう、写真撮影を行うとともに、数量等が確認できるように計量伝票等を監督員に提出すること。

・マニフェスト（産業廃棄物管理票）の写し及び再生資源化に係るものについては受入伝票の写し（マニフェストは原則として環境省が示す全国統一のマニフェストを使用する。）

#### 第10節 排出ガス対策型建設機械の使用促進

- ・令和7年8月広島県土木工事共通仕様書で使用を義務づけている排出ガス対策型建設機械においては、第三次基準以上の建設機械の使用に努めること。なお、使用する排出ガス対策型建設機械について、基準値による設計変更は行わない。

#### 第4章 その他

##### 第1節 その他項目

- ・本特記仕様書及び設計図書に明示していない事項または、その内容に疑義が生じた場合は、監督員の指示を受けること。

# 総括情報表

変更回数 適用単価地区 単価適用日  諸経費体系	0 70 福山市 00-08.05.01(0)  1 公共(一般)	凡例 Co … コンクリート      As … アスファルト DT … ダンプトラック      BH … バックハウ CC … クローラクレーン      TC … トラッククレーン RTC… ラフテレーンクレーン
	当世代 13 道路維持工事 04 一般交通影響有り(2) 00 補正なし 00 補正なし 00 補正なし 00 補正なし 00 補正なし 00 補正なし 00 通常工事 0% 00 補正無し 01 金銭的保証(0.04%)	前世代
建設技能労働者や交通誘導員等の現場労働者にかかる経費として、労務費のほか各種経費（法定福利費の事業者負担額，労務管理費，安全訓練等に要する費用等）が必要であり，本積算ではこれらを現場管理費等の一部として率計上している。		

# 本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
本工事費					X1000
道路維持					Y1G01 レベル1
	1	式			
道路土工					Y1G0102 レベル2
	1	式			
残土処理工					Y1G010210 レベル3
	1	式			
土砂等運搬 【土質】					Y1G01021002 レベル4
		m3			
土砂等運搬 小規模 土砂(岩塊・玉石混り土含む) D1D区間無し 距離7.0km以下(5.5km超)	20	m3			SPK25040002 00 単第0 -0001 表
残土等処分					Y1G01021003 レベル4
		m3			
【直接工事費に含まれる処分費等】 「処分費等」の取扱いによる					#0041
再資源化施設受入費 砂質土	20	m3			T9003 00

# 本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
標識工					Y1G0106 レベル2
小型標識工	1	式			Y1G010601 レベル3
標識柱 【柱規格,柱長さ,施工規模】	1	式			Y1G01060101 レベル4
標識柱・基礎設置(路側式)[単柱式・複柱式] 単柱式 静電粉体塗装(白色) 柱径 76.3 [規]5基以上	4	基			SS000067 00 単第0 -0002 表
標識板 【標識板規格】		枚			Y1G01060102 レベル4
標識板設置 案内標識(新設)(路線番号は除く) 一枚当りの面積2.0m2未満 [規]10m2以上	2.2	m2			SS000223 00 単第0 -0003 表
大型標識工	1	式			Y1G010602 レベル3
標識基礎 【形式,基礎規格】		基			Y1G01060201 レベル4
標識基礎設置(片持式・門型式) 標識柱1基当り4.0m3未満 -	5.4	m3			SS000221 00 単第0 -0004 表

# 本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
片持標識柱 【柱型式】		基			Y1G01060202レベル4
標識柱設置(片持式・門型式) 片持式 1基当りの総質量_400kg以上 [規]3基以上	2	基			SS000069 00 単第0 -0005 表
[加算額]アンカーボルトの材料価格	141	kg			TS636 00
【鋼橋門扉等工事原価】 共通仮設費[対象外]，現場管理費[対象外] 一般管理費[対象]					#0044
亜鉛めっき柱(オーバーハング) F型・逆L型・T型 ベースプレート付,鋼管	1.53	t			TH000970 00
標識板 【標識板規格】		枚			Y1G01060204レベル4
標識板設置 案内標識(新設)(路線番号は除く) 一枚当りの面積2.0m2以上 [規]10m2以上	7.9	m2			SS000223 00 単第0 -0006 表
構造物撤去工	1	式			Y1G0124 レベル2
構造物取壊し工	1	式			Y1G012406 レベル3

# 本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
舗装版切断 【舗装版種別,舗装版の全体厚】		m			Y1G01240602 レベル4
舗装版切断 アスファルト舗装版 アスファルト舗装版厚15cm以下	6	m			SPK25040307 00 単第0 -0007 表
舗装版破碎 【舗装版種別,舗装版厚】		m2			Y1G01240603 レベル4
舗装版破碎積込(小規模土工)					SPK25040018 00
	5	m2			単第0 -0008 表
縁石撤去工					Y1G012413 レベル3
	1	式			
歩車道境界ブロック撤去 【再利用区分】		m			Y1G01241301 レベル4
歩車道境界ブロック撤去 再利用					SPK25040292 00
	3	m			単第0 -0009 表
運搬処理工					Y1G012416 レベル3
	1	式			
殻運搬 【殻種別】		m3			Y1G01241601 レベル4

# 本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
As殻運搬 舗装版破碎 DID区間無し 運搬距離4.5km以下(3.5km超)	0.1	m3			SPK25040155 00  単第0 -0010 表
殻処分 【殻種別】		m3			Y1G01241602レベル4
【直接工事費に含まれる処分費等】 「処分費等」の取扱いによる					#0041
アスファルト殻受入費 再生工場搬入	0.3	t			T9006 00
舗装工	1	式			Y1G0103 レベル2
舗装打換え工	1	式			Y1G010302 レベル3
上層路盤 【路盤材種類,路盤材規格,仕上り厚】		m2			Y1G01030208レベル4
上層路盤(歩道部) 全仕上り厚100mm 1層施工 RM-30	4	m2			SPK25040238 00  単第0 -0011 表
石材小型車割増	0.5	m3			F0000000002 00

# 本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
表層 【材料種類,材料規格,舗装厚,平均幅員】		m2			Y1G01030211 レベル4
表層(歩道部) 平均幅員1.4m未満(1層平均50mm以下) 1層当り平均仕上厚30mm	4	m2			SPK25040247 00 単第0 -0012 表
縁石工	1	式			Y1E0206 レベル2
縁石工	1	式			Y1E020603 レベル3
歩車道境界ブロック 【ブロック規格】		m			Y1E02060301 レベル4
歩車道境界ブロック B種(180/205×250×600) 片斜片面R 再利用設置 基礎砕石無し	3	m			SPK25040290 00 単第0 -0013 表
仮設工	1	式			Y1G0126 レベル2
交通管理工	1	式			Y1G012621 レベル3
交通誘導警備員		人			Y1G01262101 レベル4

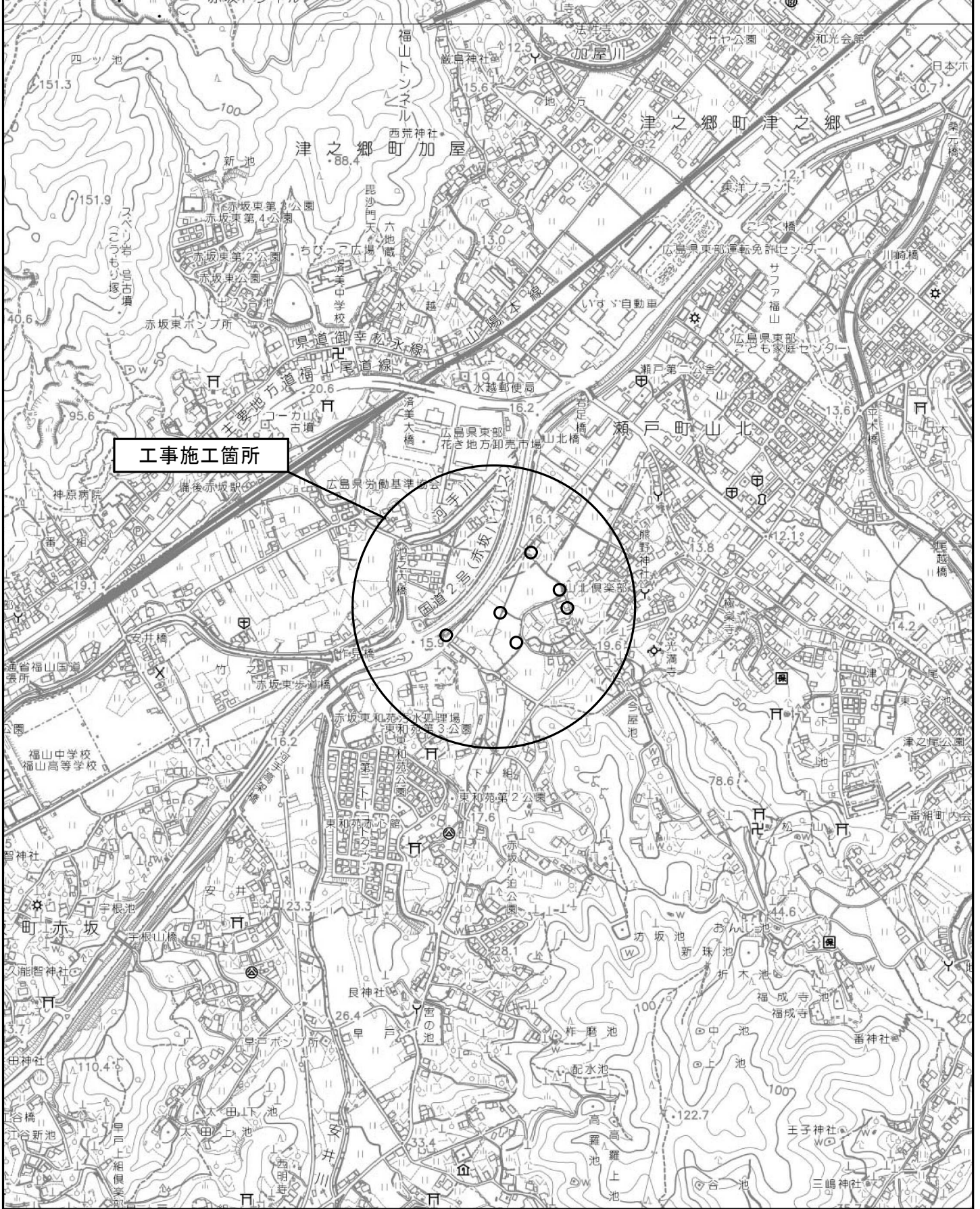
# 本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
交通誘導警備員B					R0369 00
	20	人			
** 直接工事費 ** #0020計=支給品等(材料),無償貸付					
共通仮設費率分					Z0019
計算情報..... 対象額..... 率.....					
** 共通仮設費計 **					
** 純工事費 **					
現場管理費 計算情報..... 対象額..... 率.....					
** 工事原価 **					
一般管理費率分 計算情報..... 対象額..... 率.....					前払補正率...

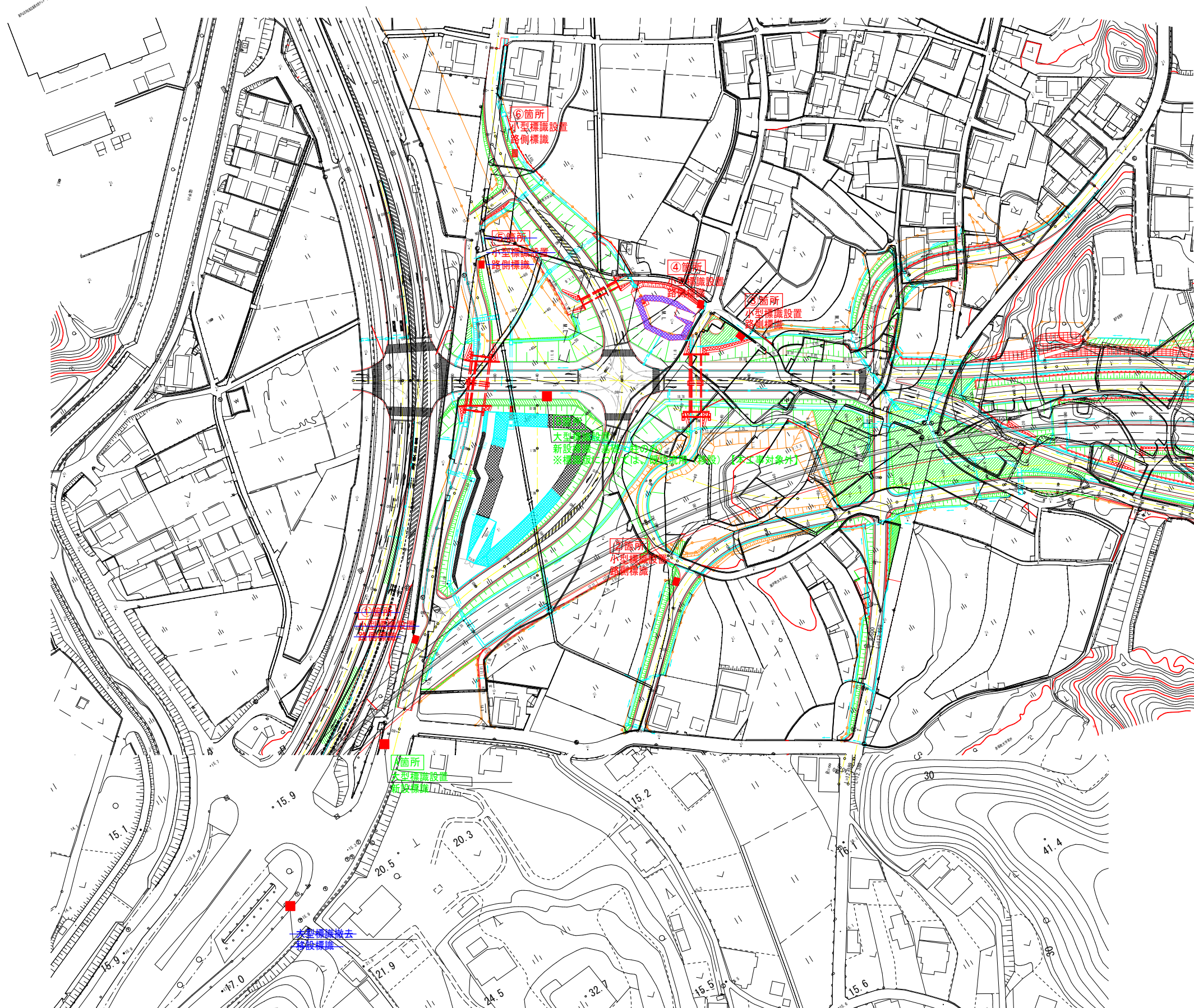
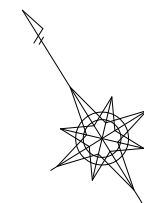
# 本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
契約保証費 計算情報..... 対象額..... 率.....					当初請対額 当初対象額
一般管理費計					
** 工事価格 **					
** 消費税相当額 ** 計算情報..... 対象額..... 率.....					
** 工事費計 **					
** 契約保証費計 **					

図面番号	1 / 4	縮尺	S=1:10,000
工種	道路標識設置工事		
種別	位置図	番号	1 / 1
路線名	金江瀬戸幹線外3路線		
工事箇所	福山市赤坂町及び瀬戸町地内		
<b>福山市</b>			



# 平面図



A3サイズで印刷時、50%に縮小しています

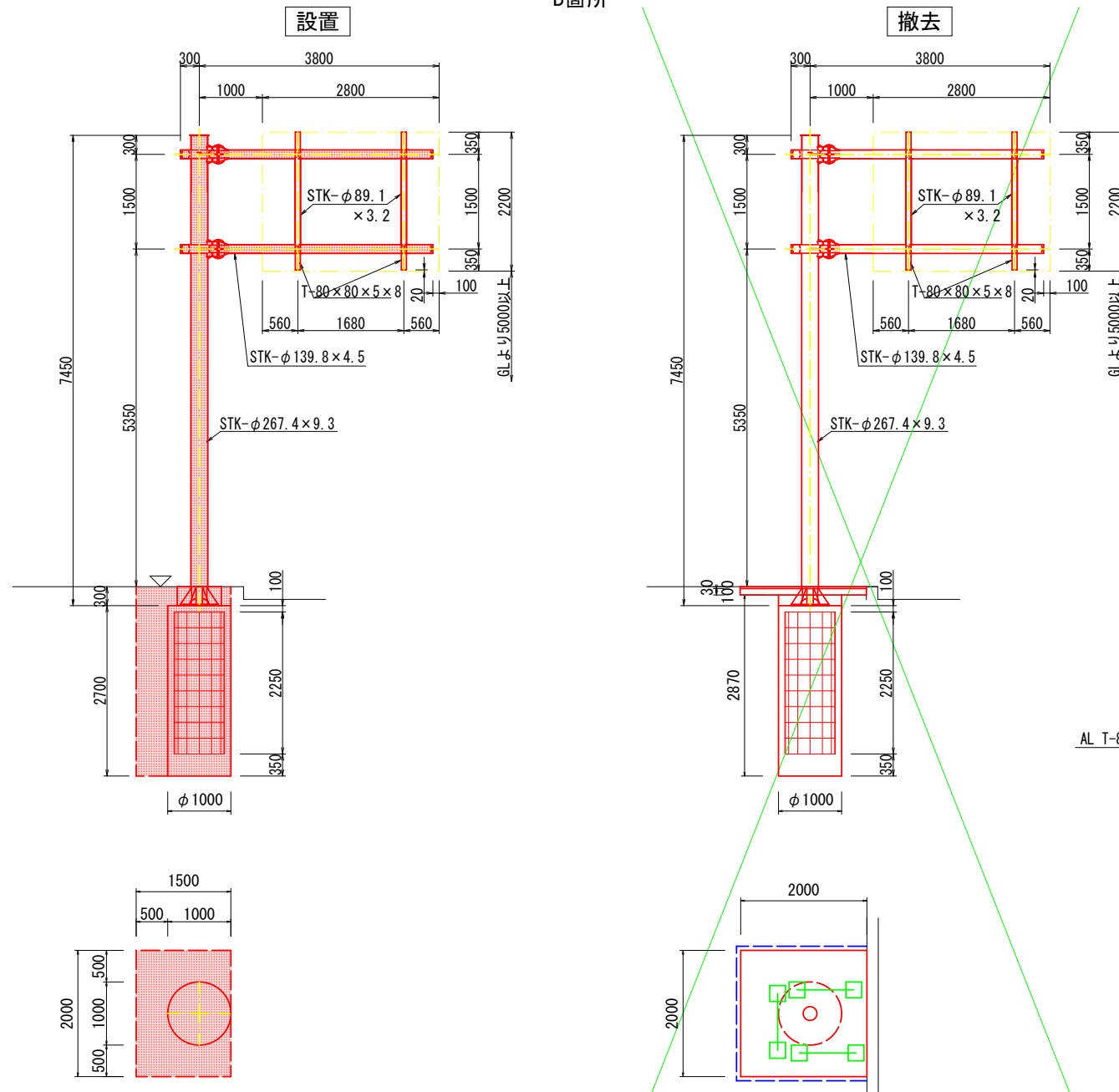
工事名	道路標識設置工事		
路線名	金江瀬戸幹線外3路線		
図面名	平面図		
縮尺	1:1000	図面番号	2 / 4
作成年月日	2026年5月		
事業者名	福山市		

※詳細な設置位置については、監督員と協議し承諾を得ること。



# 移設標識詳細図

標識全体図 S=1/50  
B箇所

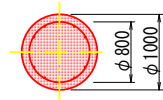


※設置面の計画高さ(▽)については監督員と協議し承諾を得ること。  
※設置予定箇所付近の構造物等の復旧については監督員と協議すること。

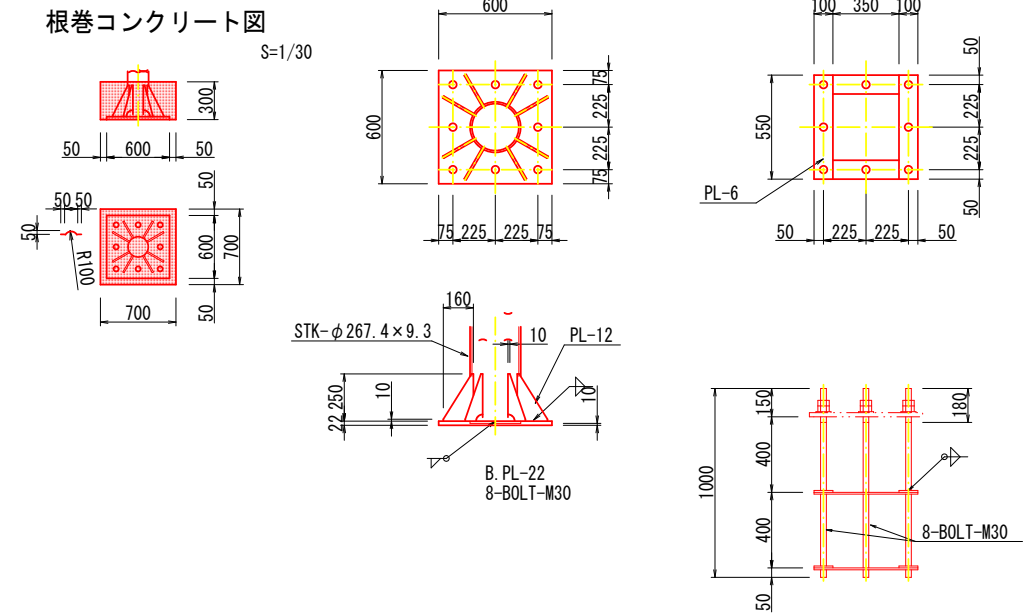
※標識基礎撤去後、RC-401にて埋戻すること。

□ : 車止めポスト (門型) 0.9m/基  
--- : 舗装版切断

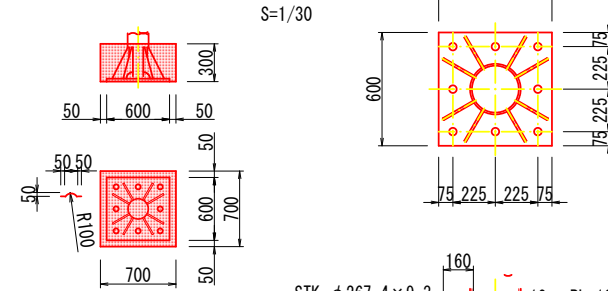
MAIN  
12-D13×2250  
HOOP  
10-D13×2563  
スペーサ  
8-D13×310



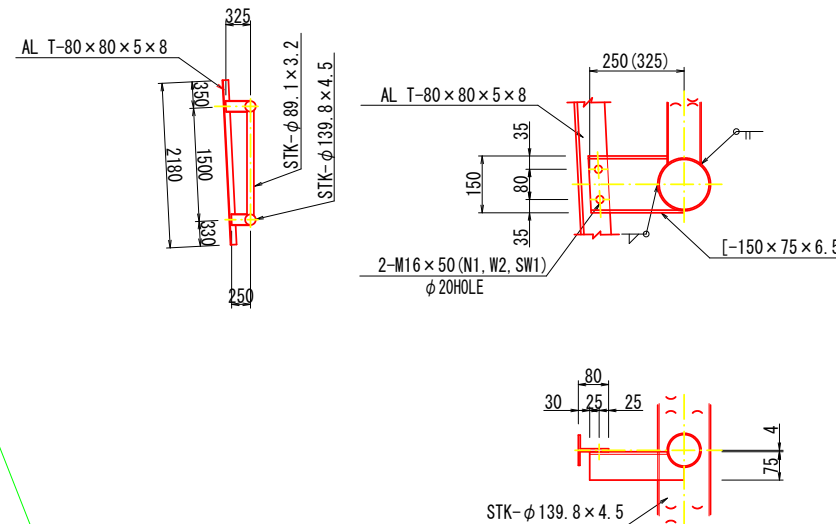
柱脚部詳細図 S=1/20



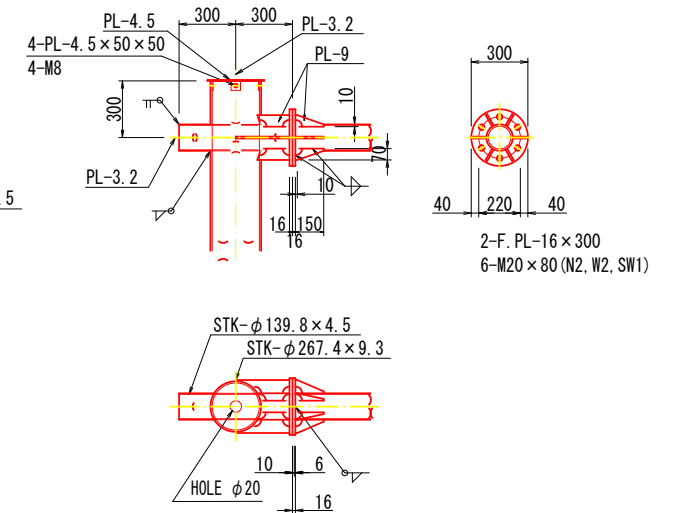
根巻コンクリート図 S=1/30



板取付金具詳細図 S=1/10



梁・柱の取合詳細図 S=1/20



## 注意

- (1) 規格は、鋼管をSTK400、鋼板、型钢、ボルトをSS400とする。
- (2) スカラップはR=25とする。
- (3) すみ肉溶接の脚長は、薄いほうの母材の厚さとする。

A3サイズで印刷時、50%に縮小しています

工事名	道路標識設置工事		
路線名	金江瀬戸幹線外3路線		
図面名	移設標識詳細図		
縮尺	図示	図面番号	4 / 4
作成年月日	2026年5月		
事業者名	福山市		

# 参 考 图 书

# 施工単価表

土砂等運搬

SPK25040002

単第0 -0001 表

小規模 土砂(岩塊・玉石混り土含む)

DID区間無し 距離7.0km以下(5.5km超)

1

m3 当り

機械構成比: 20.25% 労務構成比:

71.03% 材料構成比: 8.72%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

4,319.40000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 2t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)	20.25%		ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 2t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)		MTPC00016T1 MTPT00016T1
運転手(一般)	71.03%		運転手(一般)		RTPC00007 RTPT00007
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	8.72%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=2 小規模 C=1 土砂(岩塊・玉石混り土含む) F=31 距離7.0km以下(5.5km超)			B=6 バックホウ山積0.13m3(平積0.1m3) D=1 DID区間無し		











# 施工単価表

舗装版切断

SPK25040307

単第0 -0007 表

アスファルト舗装版

アスファルト舗装版厚15cm以下

1

m 当り

機械構成比: 15.05%

労務構成比:

58.43%

材料構成比: 26.52%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

700.44000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
コンクリートカッタ バキューム式(超低騒音型)・湿式 切削深20cm級ブレード径 56cm	10.24%		コンクリートカッタ バキューム式(超低騒音型)・湿式 切削深20cm級ブレード径 56cm		MTPC00164 MTPT00164
その他(機械)			その他(機械)		EK009
特殊作業員	19.96%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
土木一般世話役	10.88%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
普通作業員	8.92%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
その他(労務)			その他(労務)		ER009
コンクリートカッタブレード 自走式切断機用 径45cm(18インチ)	22.39%		コンクリートカッタブレード 径18インチ		TTPC00394 TTPT00394
ガソリン,レギュラー スタンド渡し,スタンド給油	2.81%		ガソリンレギュラースタンド		TTPC00014 TTPT00014
その他(材料)			その他(材料)		EZ009





# 施工単価表

歩車道境界ブロック撤去  
再利用

SPK25040292

単第0 -0009 表

1 m 当り

機械構成比: 3.96% 労務構成比: 94.58% 材料構成比: 1.46% 市場単価構成比: 0.00% 標準単価: 1,470.90000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>超小旋回バックホウ(クローラ型) 山積0.22m3(平積0.16) 排出ガス対策型(第1,2,3次基準値)低騒音	3.96%		小型バックホウ [クローラ型・超小旋回型] 山積0.22m3		KTPC00002 KTPT00002
普通作業員	30.07%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	18.33%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
運転手(特殊)	17.09%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
特殊作業員	16.73%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
その他(労務)			その他(労務)		ER009
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	1.46%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=2 再利用					



# 施工単価表

As殻運搬 SPK25040155 単第0 -0010 表 1 m3 当り  
 舗装版破碎 DID区間無し 運搬距離4.5km以下(3.5km超) 標準単価： 4,319.40000  
 機械構成比： 20.25% 労務構成比： 71.03% 材料構成比： 8.72% 市場単価構成比： 0.00%

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 2t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)	20.25%		ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 2t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)		MTPC00016T1 MTPT00016T1
運転手(一般)	71.03%		運転手(一般)		RTPC00007 RTPT00007
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	8.72%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=3 舗装版破碎 C=1 DID区間無し E=1 -(全ての費用)			B=4 機械積込(小規模土工) D=20 運搬距離4.5km以下(3.5km超)		

# 施工単価表

頁0 -0013

上層路盤(歩道部)

SPK25040238

単第0 -0011 表

全仕上り厚100mm 1層施工

RM-30

1

m2 当り

機械構成比: 4.66% 労務構成比:

69.96%

材料構成比: 25.38%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

920.81000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
小型バックホウ(クローラ型) 後方超小旋回型・超低騒音型・排3 山積0.09/平積0.07m3	2.78%		小型バックホウ(クローラ型) 後方超小旋回型・超低騒音型・排3 山積0.09/平積0.07m3		MTPC00169 MTPT00169
<賃>振動ローラ(搭乗・コンバインド式) 質量3~4t 排出ガス対策型(第1,2次基準値)低騒音	1.66%		振動ローラ(舗装用) [搭乗式コンバインド型] 質量3~4t		KTPC00009 KTPT00009
その他(機械)			その他(機械)		EK009
運転手(特殊)	25.16%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
特殊作業員	14.75%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
普通作業員	14.61%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	12.11%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
再生粒度調整碎石 30~0mm	23.44%		再生粒度調整碎石 RM-30 [標準数量]全仕上り厚100mm		TTPC00010 TTPT00360

# 施工単価表

上層路盤(歩道部)

SPK25040238

単第0 -0011 表

全仕上り厚100mm 1層施工

RM-30

1

m2 当り

機械構成比: 4.66%

労務構成比:

69.96%

材料構成比: 25.38%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

920.81000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
軽油 パトロール給油, 2~4KL積載車給油	1.85%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
その他(材料)			その他(材料)		EZ009
積算単価			積算単価		E9999
A=100 D=1 全仕上り厚(mm) -(全ての費用)			B=1 RM-30		
【路盤材単価】 全仕上り厚(mm)/1000*路盤材単価(円) 全仕上り厚(mm):100.000(mm)					

# 施工単価表

頁0 -0015

表層(歩道部)

SPK25040247

単第0 -0012 表

平均幅員1.4m未満(1層平均50mm以下)

1層当り平均仕上厚30mm

1

m2 当り

機械構成比: 0.46% 労務構成比:

52.19%

材料構成比: 47.35%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

2,244.10000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
振動ローラ(舗装用) ハンドガイド式 運転質量0.5~0.6t	0.31%		振動ローラ(舗装用) ハンドガイド式 運転質量0.5~0.6t		MTPC00047 MTPT00047
振動コンパクト 前進型 運転質量40~60kg	0.08%		振動コンパクト 前進型 運転質量40~60kg		MTPC00049 MTPT00049
その他(機械)			その他(機械)		EK009
特殊作業員	20.25%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
普通作業員	18.10%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	5.52%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
再生加熱アスファルト混合物 再生密粒度(13)	41.40%		再生密粒度As混合物(13) [標準数量]平均仕上り厚40mm		TTPC00024 TTPT00293
アスファルト乳剤(JISK2208) アスファルト乳剤(浸透用) PK-3プライムコート用	5.78%		アスファルト乳剤(JISK2208) アスファルト乳剤(浸透用) PK-3プライムコート用		TTPC00026 TTPT00026

# 施工単価表

表層(歩道部)

SPK25040247

単第0 -0012 表

平均幅員1.4m未満(1層平均50mm以下)

1層当り平均仕上厚30mm

1

m2 当り

機械構成比: 0.46% 労務構成比:

52.19%

材料構成比: 47.35%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

2,244.10000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
ガソリン,レギュラー スタンド渡し,スタンド給油	0.10%		ガソリンレギュラースタンド		TTPC00014 TTPT00014
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	0.04%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
その他(材料)			その他(材料)		EZ009
積算単価			積算単価		E9999
A=1 平均幅員1.4m未満(1層平均50mm以下) C=7 再生密粒度アスコン(13) G=2 小型車割増有 I=1 -(全ての費用)			B=30 1層当り平均仕上り厚(mm) E=2 PK-3 H=1 -		
【アスファルト混合物単価】 1層当り平均仕上り厚(mm)/1000*(アスファルト混合物単価(円)+各種割増合計値) 1層当り平均仕上り厚(mm):30.000(mm)					

# 施工単価表

歩車道境界ブロック

SPK25040290

単第0 -0013 表

B種(180/205×250×600) 片斜片面R

再利用設置 基礎砕石無し

1

m 当り

機械構成比: 3.71% 労務構成比:

95.13%

材料構成比:

1.16%

市場単価構成比:

0.00%

標準単価:

3,572.50000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>後方超小旋回小型バックホウ(クローラ) 山積0.09m3(平積0.07)吊能力0.9t 排出ガス対策型(第1,2,3次基準値)低騒音	3.71%		小型バックホウ(クローラ型) [後方超小旋回型・クレーン機能付] 山積0.09m3(平積0.07m3)吊能力0.9t		KTPC00053 KTPT00053
特殊作業員	36.88%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
普通作業員	33.06%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	20.18%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	1.16%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		E9999
A=2 再利用設置 E=2 基礎砕石無し			B=2 B種(180/205×250×600) 片斜片面R F=4 均し基礎コンクリート無し		

本工事総括表

レベル1	レベル2 工種	レベル3 種別	レベル4 細別	レベル5 規格	単位	計 算 数 量	計 上 数 量	摘 要	工 事 区 分
道路標識設置工事(金江瀬戸幹線外3路線)									
本工事	道路土工								
		残土処理工							
			土砂等運搬	小規模 土砂(岩塊・玉石混り土含む) D/D区間無し 距離7.0km以下(5.5km超)	m3	21.1	20	第1表	
			残土等処分	再資源化施設受入費 砂質土	m3	21.1	20	第1表	
	標識工								
		小型標識工							
			標識柱	標識柱・基礎設置(路側式)[単柱式・複柱式] 単柱式 静電粉体塗装(白色) 柱径φ76.3 [規]5基以上	基	4.0	4	第1表	
			標識板	案内標識(新設)(路線番号は除く) 一枚当りの面積2.0m2未満 [規]10m2以上	m2	2.22	2.2	第1表	
		大型標識工							
			標識基礎	標識基礎設置(片持式・門型式) 標識柱1基当り4.0m2未満	m3	5.39	5.4	第1表	
			片持標識柱	標識柱設置(片持式・門型式) 片持式 1基当りの総質量 400kg以上 [規]3基以上	基	2.0	2	第1表	
				[加算額]アンカーボルトの材料価格	kg	140.5	141	71.2 + 69.3	
			【鋼橋門扉等工事原価】						
				垂釣めっき柱(オーバーハング) F型・逆L型・T型 ベースプレート付 鋼管	t	1.530	1.53	第1表	
			標識版	案内標識(新設)(路線番号は除く) 一枚当りの面積2.0m2以上 [規]10m2以上	m2	7.92	7.9	第1表	
	構造物撤去工								
		構造物取壊し工							
			舗装版切断	アスファルト舗装版 アスファルト舗装版厚15cm以下	m	6.0	6	第1表	
			舗装版破砕	舗装版破砕積込(小規模土工)	m2	4.5	5	第1表	
		縁石撤去工							
			歩車道境界ブロック撤去	再利用	m	2.6	3	第1表	
		運搬処理工							
			As殻運搬	舗装版破砕 D/D区間無し 運搬距離4.5km以下(3.5km超)	m3	0.14	0.1	第1表	
			As殻処分	アスファルト殻受入費 再生工場搬入	t	0.33	0.3	第1表	
	舗装工								
		舗装打換え工							
			上層路盤	全仕上り厚100mm 1層施工 RM-30	m2	3.9	4	第1表	
				石材小型車割増	m3	0.47	0.5	3.9 × 0.10 × 1.20	
			表層	平均幅員1.4m未満(1層平均50mm以下) 1層当り平均仕上厚30mm	m2	3.9	4	第1表	
	縁石工								
		縁石工							
			歩車道境界ブロック	B種(180/205×250×600) 片斜片面R 再利用設置 基礎砕石無し	m	2.6	3	第1表	

# 数量計算書

## 第1表

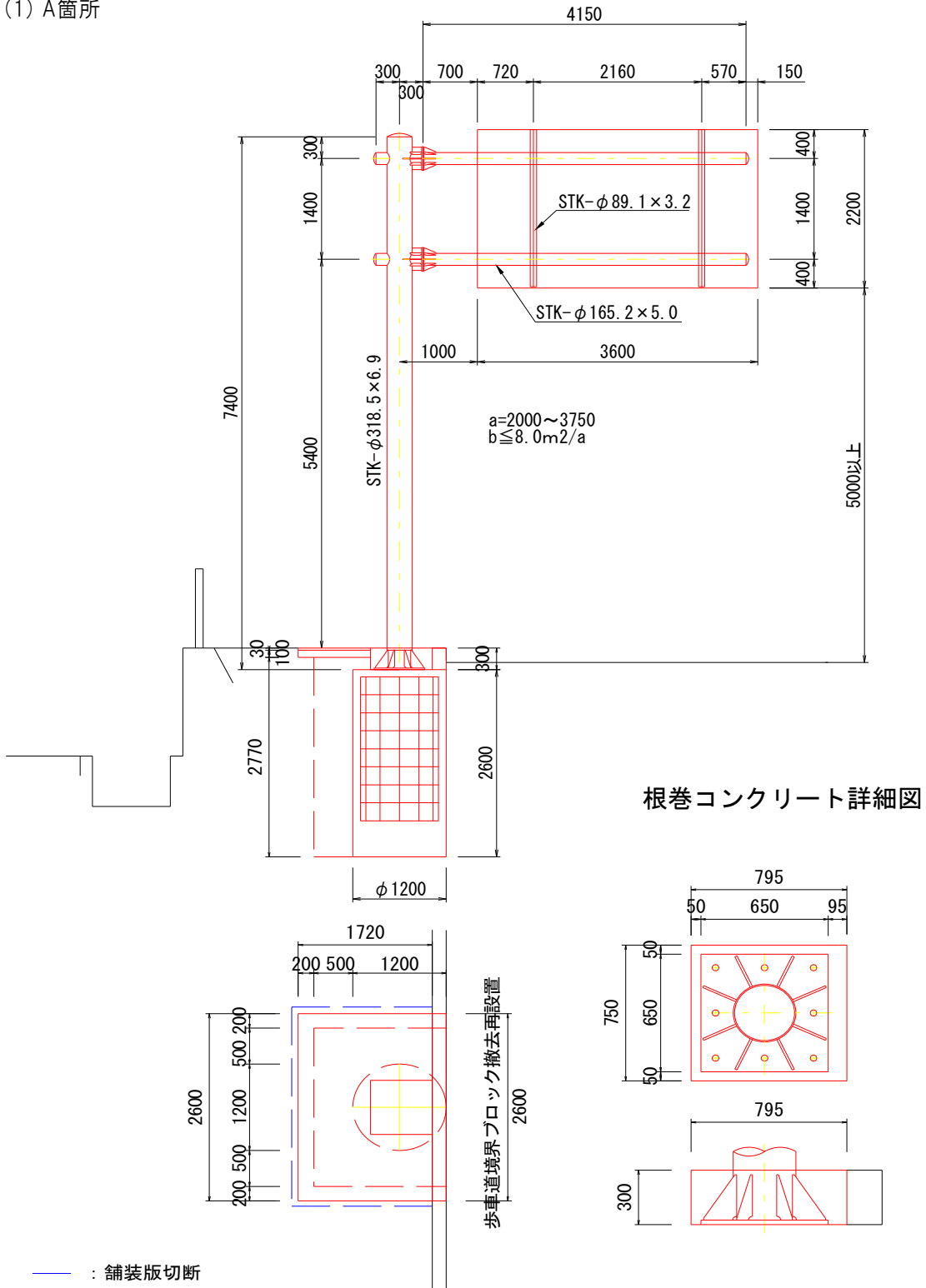
### 1. 集計

	残土処分	標識基礎		標識柱			標識板		舗装版 切断	舗装版 破碎
		路側式	片持式	路側式	片持式	片持式	2m2/枚 以上	2m2/枚 未満		
	m3	m3	m3	基	基	t	m2	m2	m	m2
A	10.8		3.12		1	0.786	7.92		6.0	4.5
B	9.0		2.27		1	0.744				
①	1.3	1.30		4				2.22		
②										
③										
④										
⑤										
⑥										
合計	21.1	1.30	5.39	4	2	1.530	7.92	2.22	6.0	4.5

	アンカー ボルト セット	舗装復旧工		歩車道境界ブロック		As殻	
		上層路盤	表層	撤去	再設置	運搬	処分
	kg	m2	m2	m	m	m3	t
A	71.2	3.9	3.9	2.6	2.6	0.14	0.33
B	69.3						
①							
②							
③							
④							
⑤							
⑥							
合計	140.5	3.9	3.9	2.6	2.6	0.14	0.33

2. 箇所毎数量

(1) A箇所



1) 残土処分

$$V = 2.60 \times 1.72 \times 0.10 + 2.20 \times 1.70 \times 2.77 \quad \underline{10.8 \text{ m}^3}$$

2) 標識基礎

$$V = 1.20 \times 1.20 \times \frac{\pi}{4} \times 2.60 + 0.795 \times 0.75 \times 0.30 \quad \underline{3.12 \text{ m}^3}$$

3) 標識柱

第2表より

$$\text{標識柱重量} \quad \underline{0.786 \text{ t}}$$

$$\text{アンカーボルト重量} \quad \underline{71.2 \text{ kg}}$$

4) 標識板

$$A = 3.60 \times 2.20 \quad \underline{7.92 \text{ m}^2}$$

5) 舗装版切断

$$L = 1.72 + 2.60 + 1.72 \quad \underline{6.0 \text{ m}}$$

6) 舗装版破碎

$$A = 2.60 \times 1.72 \quad \underline{4.5 \text{ m}^2}$$

7) 殻運搬処分

$$\text{As殻 } V = 4.5 \times 0.03 \quad \underline{0.14 \text{ m}^3}$$

$$W = 0.14 \times 2.35 \quad \underline{0.33 \text{ t}}$$

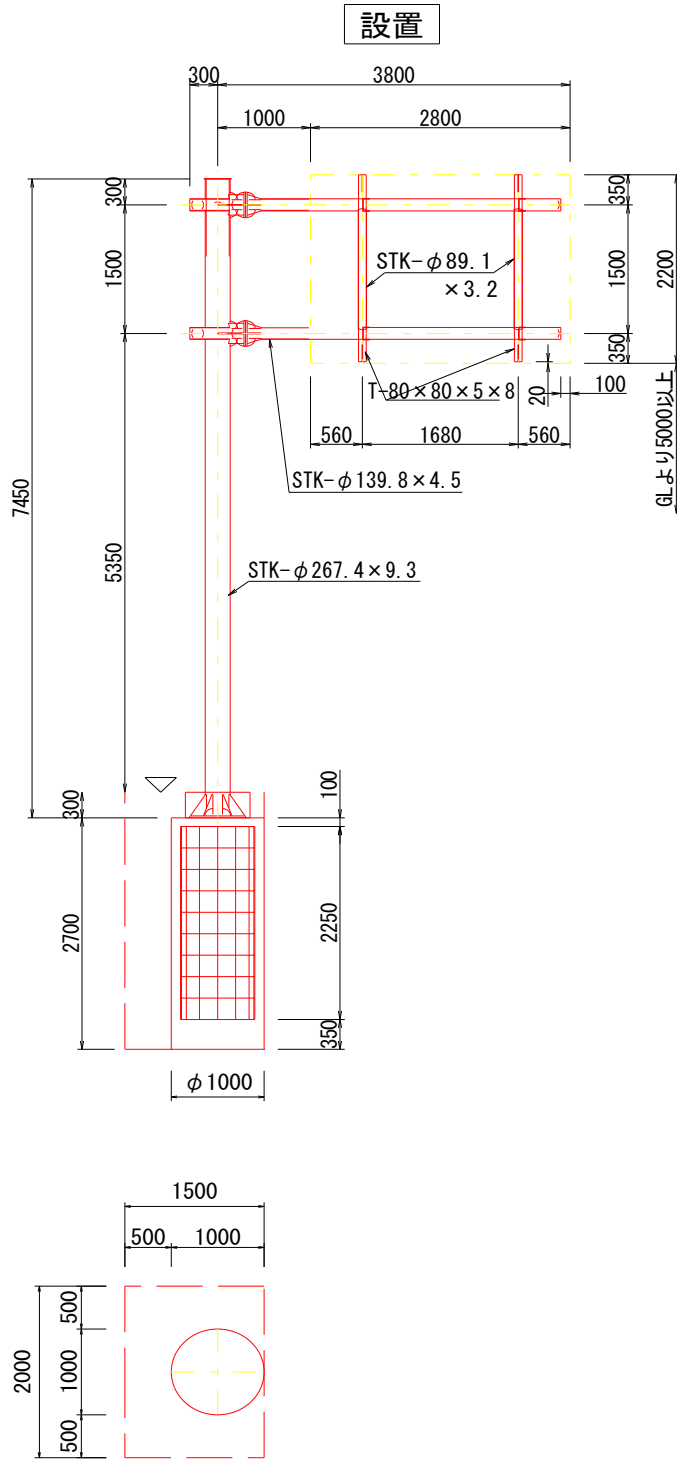
8) 舗装復旧工

$$A = 2.60 \times 1.72 - 0.795 \times 0.75 \quad \underline{3.9 \text{ m}^2}$$

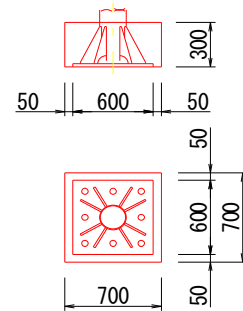
9) 歩車道境界ブロック撤去再設置

$$L = 2.6 \quad \underline{2.6 \text{ m}}$$

(2) B箇所



**根巻コンクリート図**



※設置面の計画高さ（▽）については監督員と協議し承諾を得ること。  
 ※設置予定箇所付近の構造物等の復旧については監督員と協議すること。

1) 残土処分

$$\boxed{\text{設置}} V = 2.00 \times 1.50 \times 3.00 \quad \underline{9.0 \text{ m}^3}$$

2) 標識基礎

$$\boxed{\text{設置}} V = 1.00 \times 1.00 \times \frac{\pi}{4} \times 2.70 \\ + 0.70 \times 0.70 \times 0.30 \quad \underline{2.27 \text{ m}^3}$$

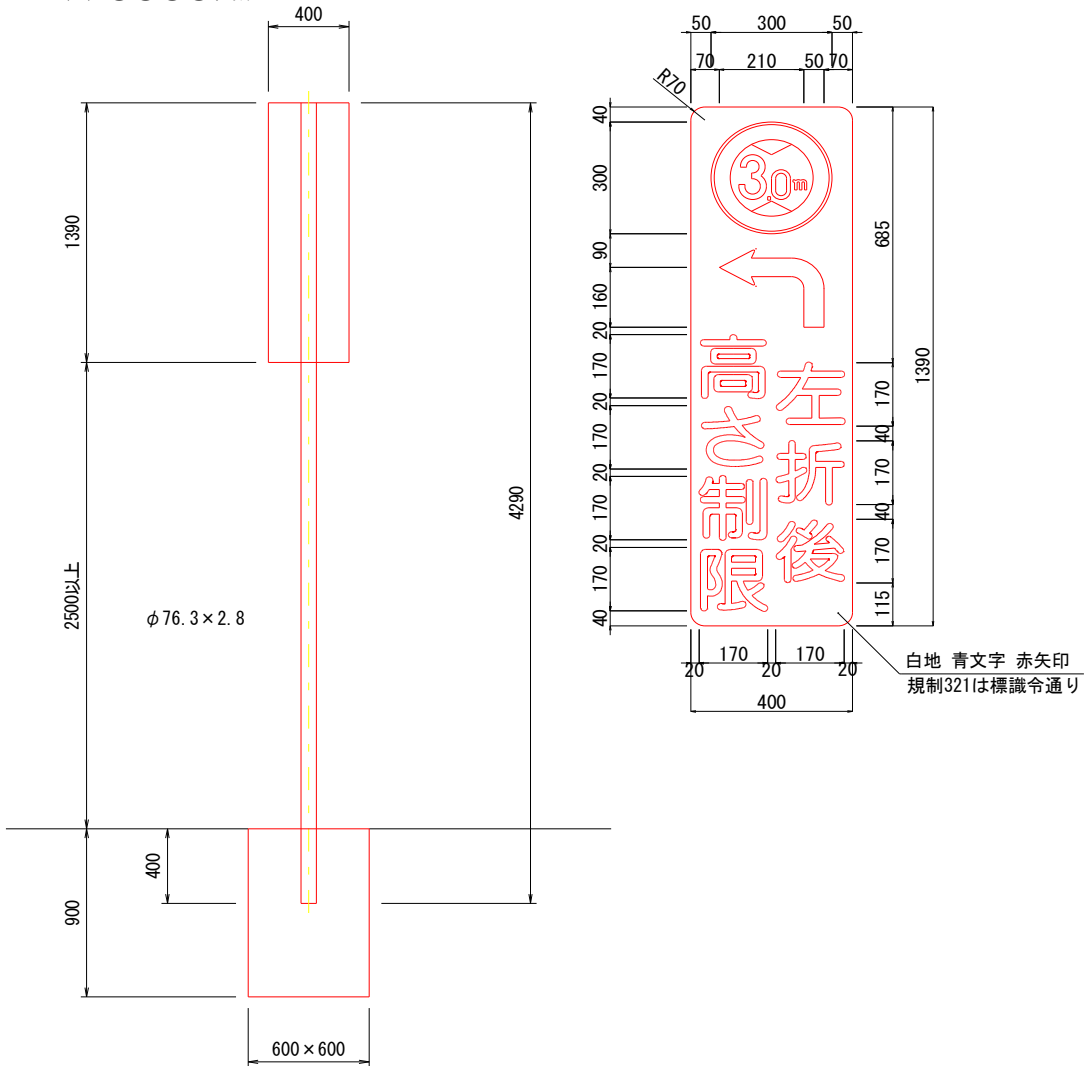
3) 標識柱

第3表より

$$\boxed{\text{設置}} \text{標識柱重量} \quad W = 0.738 + 0.006 \quad \underline{0.744 \text{ t}}$$

$$\text{アンカーボルト重量} \quad \underline{69.3 \text{ kg}}$$

(3) ②③④⑥箇所



1) 残土処分

$$V = 0.60 \times 0.60 \times 0.90 \times 4 \quad \underline{1.3 \text{ m}^3}$$

箇所数

2) 標識基礎

$$V = 0.60 \times 0.60 \times 0.90 \times 4 \quad \underline{1.30 \text{ m}^3}$$

箇所数

3) 標識柱

4 基

4) 標識板

$$A = 0.40 \times 1.39 \times 4 \quad \underline{2.22 \text{ m}^2}$$

箇所数

第2表

## 重 量 表

TYPE-F4 ( 7.0 ~ 8.0 m<sup>2</sup> )板寸法 2.2mm× 3.6mm ( 8E-06 m<sup>2</sup> )

部 材	規格寸法 (mm)	長 さ (mm)	単位重量 (Kg/m, m <sup>2</sup> )	重量/個 (Kg)	数量	重 量 (Kg)	備 考
支柱	φ 318.5×6.9	7400	53.00	392.20	1	392.20	
梁材	φ 165.2×5.0	4150	19.80	82.17	2	164.34	
繫材	φ 89.1×3.2	1400	6.78	9.49	2	18.98	
板取付金具	9×300	400	70.65	8.48	2	16.96	下部
小 計						592.48	
板取付金具	9×300	413	70.65	8.75	2	17.50	上部
キャップ	φ 318.5×3.2	—	25.12	2.00	1	2.00	支柱用
キャップ	φ 165.2×3.2	—	25.12	0.54	4	2.16	梁用
フランジ	φ 330×16	—	125.60	10.80	4	43.20	
リブプレート	9×150	70x1/2	70.65	0.37	16	5.92	
リブプレート	9×182	70	70.65	0.90	8	7.20	
リブプレート	9×238	70	70.65	1.18	4	4.72	
リブプレート	9×125	70	70.65	0.62	4	2.48	
ベースP. L	25×650	650	196.20	82.89	1	82.89	
リブプレート	12×250	160x1/2	94.20	1.88	8	15.04	
ボルト	M22	90	—	0.56	16	8.96	
ボルト	M16	50	—	0.21	8	1.68	
小 計						193.75	
総 重 量						786.23 Kg	
アルミT金具	T-8×80×80	L= -0.018			2	-0.036 m	
リブ金具	—					4 個	
アンカーボルトセット	8×M30×1000			1	71.20 Kg		
鉄筋	12×D16×2000 9×D13×3192 8×D13×310			1	68.48 Kg		
コンクリート	φ 1200×2600			1	2.94 m <sup>3</sup>		

第3表

TYPE F1021

標識板: 2200 × 2800 6.16 m<sup>2</sup>

種別	断面・寸法(mm)	1個分重量(kg)	数量	重量(kg)	摘要
支柱	267.4φ × 9.3 × 7450	440.45	1	440.5	STK
ベース	22 × 600 × 600	62.17	1	62.2	PL
リブ	12 × 250 × 160 × 1/2	1.88	8	15.0	PL
キャップ	3.2 × 300φ	1.78	1	1.8	PL
キャップ	4.5 × 290φ	2.33	1	2.3	PL
金具	4.5 × 50 × 50	0.09	4	0.4	PL
小計(1)				522.2	
梁	139.8φ × 4.5 × 3390	50.85	2	101.7	STK
梁	139.8φ × 4.5 × 590	8.85	2	17.7	STK
梁					STK
ラチス	89.1φ × 3.2 × 1392	9.44	2	18.9	STK
フランジ	16 × 300φ	8.89	4	35.6	PL
リブ	9 × 150 × 70 × 1/2	0.37	12	4.4	PL
リブ	9 × 217 × 70	1.07	8	8.6	PL
リブ	9 × 284 × 70	1.40	4	5.6	PL
リブ					PL
キャップ	3.2 × 150φ	0.44	4	1.8	PL
クランプ	150 × 75 × 6.5 × 325	6.05	2	12.1	[
クランプ	150 × 75 × 6.5 × 250	4.65	2	9.3	[
小計(2)				215.7	
小計(1)+(2)				737.9	
フランジ	M20 1=75 (W.N.)	0.394	12	4.73	BOLT
クランプ	M16 1=50	0.161	8	1.29	BOLT
キャップ	M8 1=20 (SCREW)	0.013	4	0.05	BOLT
合計				6.07	
アンカー	M30 1=1000	6.07	8	48.6	BOLT
アンカー	6 × 100 × 550	2.59	8	20.7	PL
合計				69.3	